

5-3 東海地方の微小地震の分布 (1993年5月1日～10月31日)

Distribution of Microearthquakes in Tokai District (May 1–Oct. 31, 1993)

名古屋大学理学部

School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて1993年5月1日より1993年10月31日までの6ヶ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

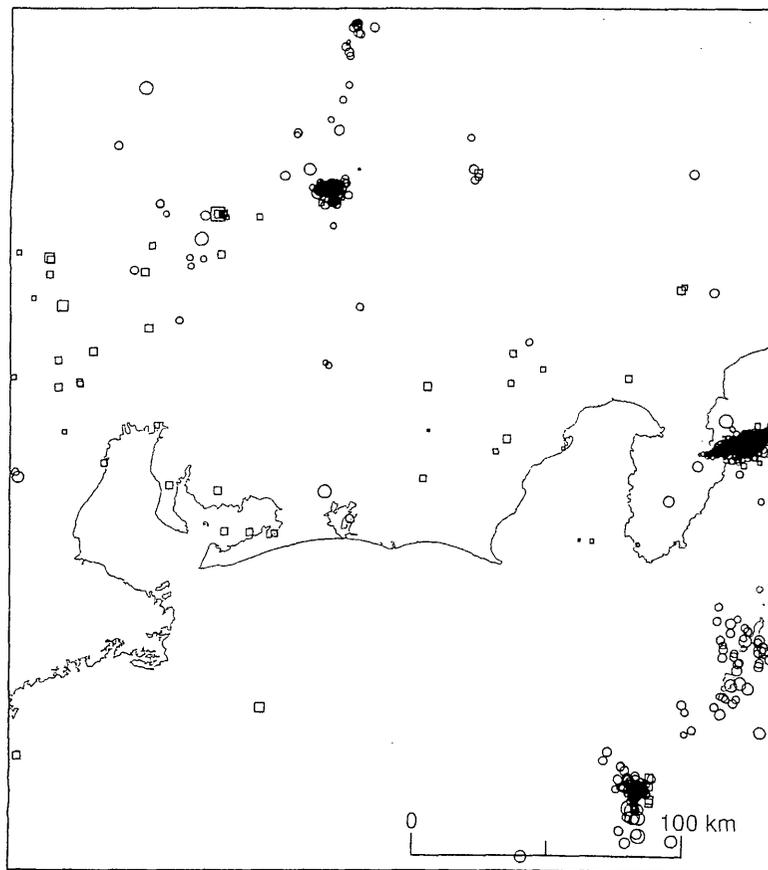
第1図は1993年10月31日までの6ヶ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km未満の深さで発生している震央を3ヶ月づつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20km以深から80km未満の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) この期間での愛知県・岐阜県南部・三重県北部等の地域での地震活動は、M3以上の地震が愛知県内で6回、三重県内で4回、岐阜県内で10回発生し活動的であったが、6月と7月は静穏であった。8月下旬からはやや活動的となり愛知県では9月23日にM4.7の地震が発生したが、これはフィリピン海プレート内地震であった。
- (2) 長野県南部・静岡県・山梨県の地域では、M3以上の地震は4回で静穏であった。
- (3) 長野県西部地域ではこの期間にM3以上の地震は8回程度であり、平常通りの活動であった。
- (4) 伊豆東方沖では4月の活動後、5月26日から6月4日にかけて活動的であった。その後7月26日にM3.2、M3.8、M3.9の地震の発生を見たが、これまでの活動域の東側であり、7月28日のM3.2の地震は内陸部で発生し、10月上旬からの活動は微少なものが多いものの引続き内陸部で発生している。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布 (1992年11月1日～1993年4月30日)，連絡会報，50，(1993)，343–345.



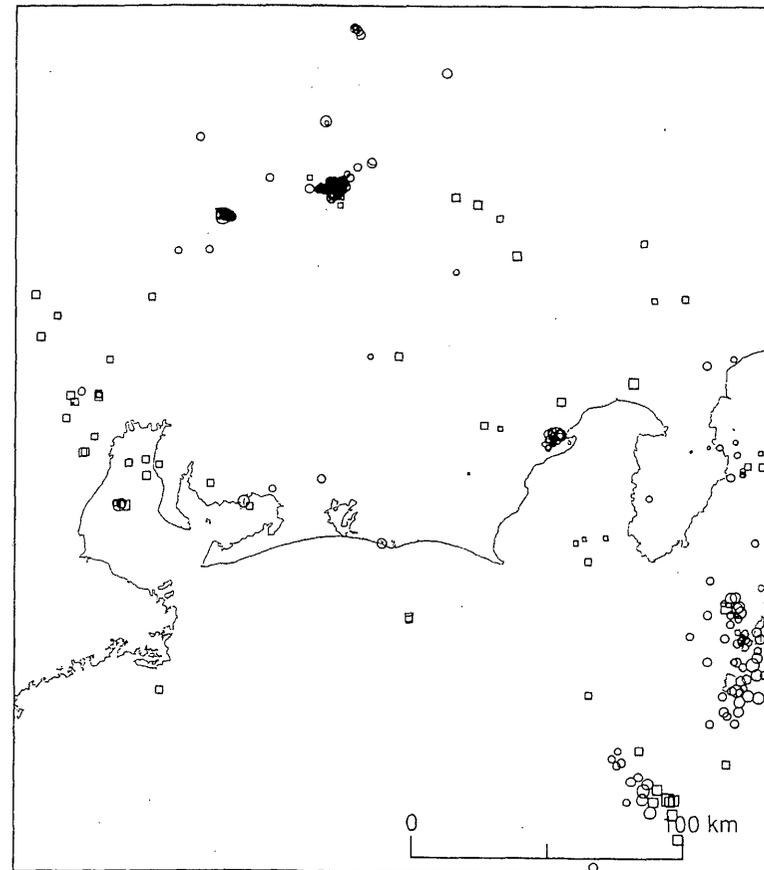
N = 1160

DEPTH 0 10 20 km
○ □

MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

1993 5 1 - 1993 7 31

(NAGOYA UNIV.)



N = 346

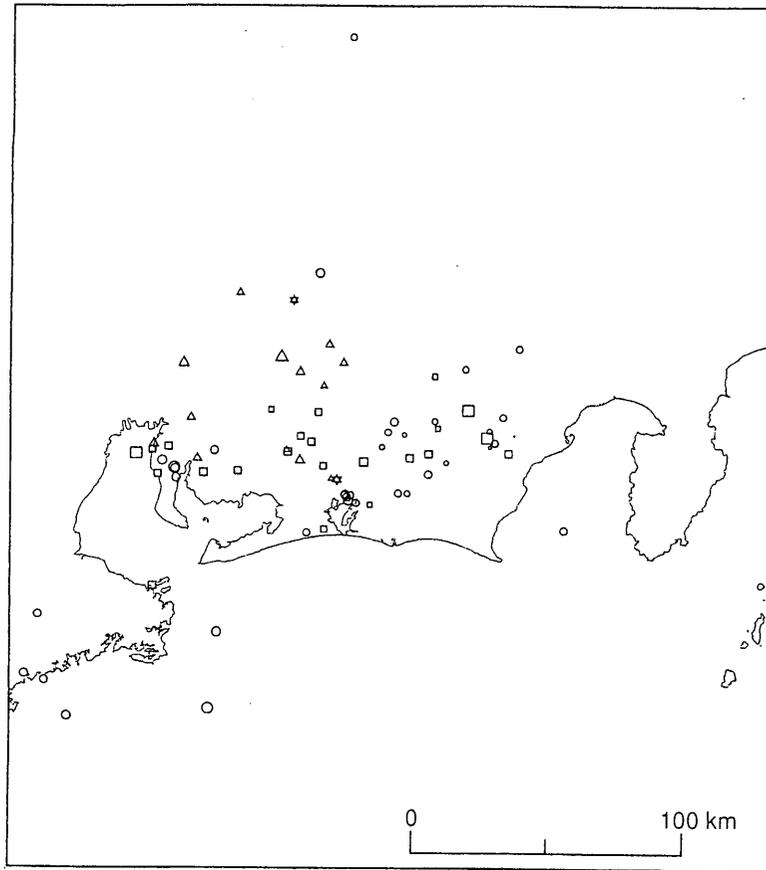
DEPTH 0 10 20 km
○ □

MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

1993 8 1 - 1993 10 31

(NAGOYA UNIV.)

第1図 微小地震の分布 (1993年5月1日~10月31日) 震源の深さが20km未満のもの
Fig.1 Epicenter distribution of earthquakes (May 1–Oct. 31, 1993) shallower than 20km.

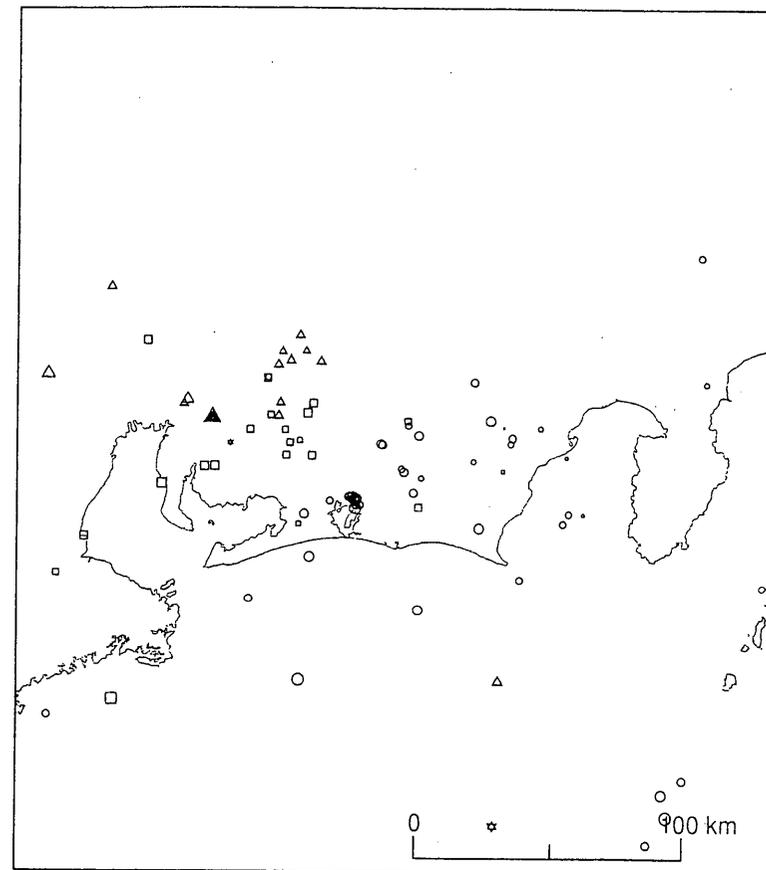


N = 76

DEPTH 20 30 40 50 80 km MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ○ ○ ○

1993 5 1 - 1993 7 31

(NAGOYA UNIV.)



N = 90

DEPTH 20 30 40 50 80 km MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ○ ○ ○

1993 8 1 - 1993 10 31

(NAGOYA UNIV.)

第2図 微小地震の分布（1993年5月1日～10月31日）震源の深さが20km以深から80km未満のもの

Fig.2 Epicenter distribution of earthquakes (May 1–Oct. 31, 1993) deeper than and equal to 20km.